

第 12 回フロリダ日本サミットの開催

9月2日、フロリダ国際大学で第12回フロリダ日本サミットが開催されました。このイベントは、毎年、開催地を変えて開催されており、フロリダ州政府、大学、日本企業、文化機関などの日本関係者が一同に集い、日本・フロリダ関係を俯瞰する重要な機会になっています。

まず、スタック・フロリダ国際大学教授が歓迎の挨拶を述べられ、続いてメンシア・エンタープライズ副総裁が「フロリダ州政府は日本との関係を重視している」旨延べ、日本企業のフロリダ進出への期待を示しました。

次に、当館の荻野首席領事が長嶋総領事の基調講演を代読しました。フロリダ州における日本語教師の皆様の活躍、JETプログラム、姉妹都市交流、日本企業のフロリダ州進出状況等を説明するとともに、日本フロリダ州関係発展の礎を築いた先人達の活躍（森上博物館の由来となる森上助次氏、マイアミ・ビーチ氏の発展を助けた須藤幸太郎及び田代重三氏、日米南東部会設立に尽力したアスキュー元フロリダ州知事、戦後日本の教育改革に協力したマーク・オーア博士）を紹介しました。

続いて行われたビジネス観光パネルでは森在アトランタ・ジェットロ事務所長、パイロット社のマック・ウイリアム氏、原フロリダ中央大学教授及びサトー・グローバル・ソリューションズの文室氏が登壇しました。

教育文化セッションでは、魚立フロリダ日本語教師会次期会長、ウエンディ・ロー森上博物館キュレーター、ガブリエラ・ロウ JET 同窓生がパネリストとして参加しました。

最後にハイン・フロリダ国際大学教授が新たな奨学金プログラムを発表すると共に、津井和歌山県参事がフロリダ州/和歌山県姉妹関係締結 20 周年を記念して同日の午前に行われた日本語スピーチコンテストの結果を報告しました。

総領事館としては、今後ともフロリダ日本サミットの開催を支援し、関係者の皆様とのネットワークを大切にしていきたいと考えています。

